



高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

自分で本作り、社会貢献

四国 人 脈

コロナ禍で支給された10万円の特別定額給付金を親本金に、2019年出版した「万葉社」を高松市内で設立し、出版業

1時の「合則万葉社」が10年に徳島県美作郡(旧美作郡)の設立に携わった。1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

1時の「合則万葉社」が10年に徳島県美作郡(旧美作郡)の設立に携わった。1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。

令和3年8月1日
毎日新聞 22面(徳島)で掲載していただきました。
ありがとうございます。

高松市の出版社「万葉社」社長。作家。現在は親家の精進院一部と、1940年に父に別わった東京オリンピックとの関係について執筆中。1日に本を1〜2冊、新聞を7紙読む生活を送る。